千歳セントラルロータリークラブ
ROTARY INTERNATIONAL District 2510
CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

発行 千歳セントラルロータリークラブ
会長 坂井 治 / 副会長 彦坂忠人 / 幹事 佐々木俊哉 / 会報編集責任者 武田伸也
〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 ホテル日航千歳内 TEL･FAX.0123-26-5788 オフィシャルホームページ http://www.ccrc.jp　E-mail.office@ccrc.jp

会長あいさつ　　会長　坂井　治

皆さん、こんにちは。
昨日で震災から１か月が経ちました。
改めて犠牲者の方のご冥福と被災地の復興をお祈りしたいと思います。
各地で今後の支援についてのいろいろな動きが活発化してきています。
たとえば、道内では『北海道被災者支援ネット』や『北海道被災者受け入れ支援ネットワーク』などと言った震災支援ＮＰＯが立ち上がってきています。
私たちはこういうボランティアには全くの素人ですのでこのようなネットワークに関与して勉強しながら私たちが今後どう支援していくかを確認していくのも一つの方法ではないかと考えています。
　さて、４月はロータリーの雑誌月間です。
「THE ROTARIAN」およびロータリー地域雑誌（『ロータリーの友』など）の購読と活用促進に役立つプログラムを行う月間です。雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることを目的としています。
大きなクラブでは例年地区の「ロータリーの友』委員会のメンバーを講師に呼ぶことが多いようですが今回は彦坂委員長がご自身で勉強されたことをご披露下さることになっていますので、楽しみにしています。
では、今日の例会どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告　　副幹事　須藤　丈

- 第 2510 地区 2009～2010 年度地区要覧が届いています。
- ガバナー月信 4 月号に、田口国際奉仕委員長参加の WCS 検証事業報告と井上会員参加の CLP 導入推進セミナーの報告が掲載されています。
- 第 19 回長沼国際交流フェスティバルのご案内
  日時：2011 年 5 月 14 日（土）開会式 13:00
  懇親会 17:00～
  会場：長沼町民会館

例会出席状況　（2011 年 4 月 12 日）	
会員数	34 名
会員出席者数	17 名
欠席者数（内：無断欠席）	17（3）名
出席率（前回例会）	50.00（67.64）%
ゲスト･ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	17 名

  多くの皆さんに参加していただきたいので、後ほど出欠の回覧をいたします。
- 4 月 19 日（火）夜間例会の前に親睦ゴルフコンペが開催されます。ご参加をお願いいたします。

各委員会連絡･報告

副幹事(次年度幹事)　須藤　丈

みなさんに今日お配りしています、次年度の組織図をご覧ください。記入漏れがありましたので、訂正をお願いいたします。
クラブ広報委員会の「会報･IC」で次年度から「地区宣伝･広報」を兼務して活動をしていくことになります。
奉仕プロジェクト委員会の「社会奉仕」と「地域活動」を兼務して行います。
長泉ロータリークラブとの締結が来年５月で 15 周年を迎えます。締結 15 周年交流会の準備のため、「友好クラブ」で兼務していただきます。
第 2510 地区世界社会奉仕委員会の田口廣副委員長は次年度委員として担当されます。
本日、欠席の新入会員の林和則さんは千葉雄二会員の後任の方になり、出席委員会に入っていただきます。
次年度組織図ですが、基本的に新入会員の方に委員長をお願いしております。ベテランのメンバーの方は新入会員のメンバーをサポートしていただいて、より活発に話し合いをしながら委員会を進めていただけるよう組織を考えました。
今以上のみなさんの協力をいただけますようお願いいたします。

ニコニコ BOX　**ニコニコ箱委員会 委員長 羽芝 涼一**

彦坂忠人会員：たくさんの方のご支援とご協力をいただきました。ありがとうございました。

須藤丈会員：娘が千歳高校に、息子が千歳中学校に入学しました。

入口博美会員：8 人の孫がおりますが、2 人が中学校に、1 人が小学校に入学しました。

白木松敏会員：皆さんお久しぶりです。低血糖を 2 回おこし仕事も入り、3 週休んでおりました。娘が大学の英文科に入学しました。

羽芝涼一会員：無届欠席をしてゴメンなさい。m(__)m

本日のプログラム

担当 プログラム･雑誌委員会 委員長 彦坂 忠人

「ロータリー誌について」

去年の 7 月からロータリー誌を少し読むようになりました。その中で、月ごとに印象に残ったことがありますので、みなさんにご報告したいと思います。

2010 年 7 月号には「ロータリーの友」について書いてありました。「ロータリーの友」が日本の地域雑誌として提案されたのが 30 年前になります。従って 1980 年 7 月号から 30 周年を迎えたことになります。ですから、30 年の歴史があります。これに携わる人がたくさんいるようでありますが、ロータリーの資金をつかったというような話があったようです。そのため「ロータリーの友」を発行するにあたり、「一般社団法人ロータリーの友事務所」が 2010 年 3 月に設立登記されました。その段階で「ロータリーの友」に関わる人はボランティアでやります、ということを宣言したと書いてありました。毎月見ている「ロータリーの友」はボランティアの皆さんが作っているということですから、そのような気持ちでみていただければと思います。

2010 年 8 月号には日本の苗字について書かれています。

日本の苗字は明治時代からはじまり、全体では 20 万ほどあるようです。そのうちの約 7,000 の苗字だけで、人口の 90%以上を占めるそうです。残りは珍しい苗字だといえます。全国で最も多い苗字は皆さんも想像がつくと思いますが、①佐藤、②鈴木、③高橋、④田中、⑤渡辺、となります。しかし、西日本になりますと①田中、②山本、③井上、④中村、⑤山田になります。宮崎では、①黒木、②甲斐、③河野、④日高、⑤佐藤となります。地域によってもかわってくるようです。一番短い苗字は何だと思いますか。一番短い苗字は一文字姓です。最も多いのは①林、②森、③原、④東、⑤辻です。

2010 年 9 月号は「世界の水問題は日本の水問題」というタイトルで科学者の方が寄稿しています。

それと同時に「子供の命と水･衛生をめぐる問題」としてユニセフの方が寄稿しています。たまたま水に関する話題が二つ 9 月号にございました。

特に前者の記事では、過去 100 年間で世界の人口は 3 倍になっているけれども、水の需要は 6 倍になっているということです。それだけ人口が増えれば、水の需要は人間が増える以上に大きくなっているということです。従って、どういう問題がおきてくるかというと、水不足、食料の不足などがあります。特に食料の不足に関しては非常に大きな関わりがあります。世界の穀物の高騰は水の需給バランスの崩れが影響しています。

バーチャルウオーター、「仮想水」とは食料の輸入＝水の輸入という概念です。この指標でものをみますと、日本はアメリカから年間 389 億トン、カナダから 49 億トン、オーストラリアから 89 億トン合計約 530 億トンの水を輸入していると言えます。日本国内の水使用量は年間で 840 億トンですから、6 割強はこの 3 カ国から穀物が輸入され、実質的には水を輸入しているということになります。農業に関係して使われる水はそのうち 550 億トンということですから、我々の食料に関しては水がなければまずだめなんだということです。地球、世界の危機が日本にも大きく影響していると述べています。

2010 年 10 月号は職業奉仕月間でありまして、4 つのテストについて書かれています。

先ほど、みなさんで歌いましたが、先日卓話ゲストで来ていただいた大古瀬様も素晴らしい歌だとおっしゃっていました。ロータリーの皆さんもそう思っていると思います。4 つのテストがどういう形で共鳴するかということなのですが、アメリカの方が提唱したものです。アルミ製品の会社が倒産寸前の時に、再建を依頼されたロータリアンが私生活あるいは会社で要になる指針をつくったのが最初です。最初は 7 つの項目があったようですが、自問形式の 4 つの項目にまとめられました。実際に再建をするときに、社員が一丸となって取り組むその心構えが 4 つのテストになったということを我々は知っておきたいと思います。

2010 年 11 月号はロータリー財団の月間でした。ロータリー財団はロータリー基金として設立され、2017 年に 100 周年を迎えます。これを踏まえ、ロータリー財団が時代にふさわしい財団になるために「未来の夢計画」というものがあるそうです。2010-11 年度から 2012-13 年度までの 3 年間、試験的にこの計画を実行したようであります。2013-14 年度からは全面的に導入するということですから、ロータリー財団も 100 周年を契機にさらに効率のよい地域の実情に合った使い方をしていきたいということが、「未来の夢計画」になってきていると書いてありました。

2010 年 12 月号ですが、経営者の方は既に聞いている

と思いますが、「ESG 経営」という言葉を聞いたことがありますか。難しい言葉なんですが、石原慎太郎氏が今回東京都知事に当選され、今の日本はこのままではだめだ、はたして日本に自動販売機が必要なのか、というようなことを述べていましたが、そういったことに通じます。21 世紀はどんな時代として認識しなければならないかということが述べられています。さまざまな問題の解決が最優先される時代になるといっていて、その問題は①地球温暖化②生物多様性の破壊③地球の過剰酷使④貧困、格差、感染症などの問題です。そういう時代がどうして起きたのかということと、それに伴って、なぜ多発するようになったかについても様々に書いてありますが、要するに 20 世紀の経済・人間の生き方を否定しなければならない、といっています。非常になるほどなあと思います。たまたま石原都知事も言っていたように再興・復建を目指す我が日本にとってはそういう見方も必要ではないかと思います。12 月号 P20～掲載されていますので、一度読んでみてはどうでしょうか。ESG 経営、「環境（E）,社会的責任（S）,ガバナンス（G）」これらを複眼的にみた経営が必要だということをいっています。非常に難しいのですが、みなさんは見ればすぐに理解されると思います。

2011 年 1 月号では、日本のロータリーの 90 年の歩みを写真で紹介していました。

関東大震災の被害に対し全世界から救援の手が差し伸べられた様子や国際ロータリーに復帰した写真、ポール・ハリス来日の写真が並べてありました。このようなものも見ていただければ、ロータリーの感じがつかめるのではないかと思います。

さらに、2011 年 2 月号です。2 月は世界理解月間でした。「ロータリーの綱領」の和訳について書いてありました。「ロータリーの綱領」の和訳についてはいろいろな意見があるそうです。この訳した内容がはたして妥当なんだろうか、と。かなりいろいろな意見があって、一昨年発足したガバナー協議会の中に綱領、翻訳に関する調査・研究委員会ができたようです。従って、委員会で今後の綱領についていろいろな異論もあるようですから、もう少し調査・研究をして多くの皆さんが納得できるような綱領にしたい、という記事でした。

2011 年 3 月号はインドの方が初めて国際ロータリーの会長になるということで記事が載っています。

この方は大変立派な方で農薬メーカーの理事をしている方のようです。ここで、話していることが大変素晴らしいと思いました。「もし、皆さんが自分自身のことをもっとよく知れば、より大きなことをなし遂げることができます。しかし、世界の平和を求める前に、自分の心の平和を求めることです」と述べています。地域・自分の家庭をもう少し見直しをして見つめ直すことから、ロータリーの活動を考えてはどうかということでした。

2011 年 4 月号でありますが、浄土宗大本山増上寺の法務部長の方の記事があります。人間は自分中心にしかものを見られない、ですとか人間は部分的にしかものを見られない動物なんだということが書いてあります。そういう人間だということを知って、事にあたることが大事だということが書いてあります。もう少し詳しく読んでいただくと非常にためになるという気がいたします。簡単ですが、今まで見てきた内容の一部を紹介いたしました。

ありがとうございました。

NEWS & TOPICS

『ロータリーの友』

RI の初代事務総長チェスリー・ペリーによって創刊された、公式機関紙『THE NATIONAL ROTARIAN 』（『THE ROTARIAN』の前身）が創刊された 1911 年 1 月 25 日を記念して 1 月 25 日を含む 1 週間を雑誌週間としていましたが、1978－79 年度から雑誌週間は 4 月に移され、1983－84 年度に特別月間として、4 月がロータリーの雑誌月間に指定されました。

『ロータリーの友』は、日本におけるロータリーの機関紙です。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス（『THE ROTARIAN』とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。

RI では、ロータリーの地域雑誌の定義として、印刷媒体と電子媒体の両方をもって地域雑誌であると規定しています。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびにロータリーの友事務所では、印刷媒体である月刊誌の『ロータリーの友』と電子媒体であるホームページ『ロータリージャパン』の制作、運営に当たっています。

『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌です。

『ロータリーの友』は世界や日本におけるロータリーの状況やロータリー活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるよう編集されています。それで、ロータリーに関する情報や思いが詰まっている倉庫（Magazine）ということができます。

『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場です。

『ロータリーの友』はロータリアンとしての意見の開陳や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が堂々と議論し、交流をはかる公開討論の場を提供しています。

財団が「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置

日本の東北地方を中心に発生した地震と津波による深刻な被災状況を受け、ロータリー財団は、被災地で長期復興支援を行うための「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置しました。
ロータリアンを含め、どなたでもオンラインで義援金を寄付することが可能です。また、クラブや地区は、現金寄付や DDF（地区財団活動資金）の寄贈を行うこともできます。

地震発生から 4 日後、倒壊した家屋から家財道具を運ぶ人々。宮城県、気仙沼市。

日本の記録史上最大となるマグニチュード9.0の地震に続き大津波が発生し、東北地域を中心とする多くの地域が深刻な打撃を受け、数多くの犠牲者と行方不明者が出ています。水と電力の供給が絶たれ、数百万の人々に影響が及んでいることに加え、少なくとも 55 万人が避難生活を余儀なくされています。
さらに福島県の原子力発電所では放射線物質の外部露出が懸念され、何万人もの周辺地域住民に退避勧告が出されています。日本政府は懸命に状況改善に努めていますが、現在、地震と津波による被害総額は既に 1,700 億ドルに上ると推測されています。
災害発生時、ロータリー関連の出張でポルトガルを訪問中だった田中作次 RI 会長ノミニー（埼玉県、八潮ロータリー・クラブ）は、電話で京子夫人と連絡を取り、安否を確認しました。「今までに体験したことのない恐ろしい揺れだった」と京子夫人から伝えられた田中会長エレクトは、「東北地方の混乱は現在も続いています。この状況がいつまで続き、またいつまでに回復できるのかは不明です。しかし、世界中のロータリアンからのご心配をいただき心が温まります」と述べています。
また、近藤雅臣 RI 理事、黒田正宏 RI 理事、国際ロータリー日本事務局職員らの無事も確認されました。
現在、世界中のロータリー・クラブと地区が、被災者の緊要なニーズに応えるべく行動を起こしています。
「世界中のロータリアンからメッセージをいただきました」と、第 2 ゾーンの RI 公共イメージ・コーディネーターを務める二神典子さんは話します。「複数のロータリー・クラブが緊急支援のためのプロジェクト計画に着手したとの報告もいただきました。しかし、残念なことに、多くのロータリアンの方々とそのご家族の安否が未だに不明となっており、日本のロータリアンにとって安心できない状況が続いております」

SCHEDULE

4 月 19 日	★夜間親睦例会「未定」［担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長･手島副委員長)]
4 月 26 日	通常例会「次年度方針」［担当/羽生会長エレクト]
5 月 3 日	●休会（みどりの日）
5 月 10 日	移動例会「ふれあい農園」［担当/ふれあい農園実行委員会]
5 月 17 日	★夜間親睦例会「未定」［担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長･手島副委員長)]
5 月 24 日	移動例会「アイドリング･ストップ啓発活動」［担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
5 月 31 日	●休会（月末）
6 月 7 日	★夜間通常例会「クラブ協議会」［担当/佐々木幹事]
6 月 14 日	通常例会「2010-2011 年度 活動報告①」［担当/羽生会長エレクト、須藤副幹事、高塚直前会長、菊池会計]
6 月 21 日	通常例会「2010-2011 年度 活動報告②」［担当/坂井会長、彦坂副会長、佐々木幹事、入口 20 周年実行委員長]
6 月 28 日	★夜間親睦例会「2010-2011 年度 最終例会」［担当/佐々木幹事、親睦活動委員会(加藤正志委員長･手島副委員長)]